

中学部 第1・3学年2組 国語科 学習指導案

日 時 11月20日(木) 2校時
場 所 B棟北ホール
指導者 T1水平 和志 T2熊地 需
T3守屋由紀子 T4北條 幸恵 他4名

1 題材名 いもいも ほりほり

2 題材の目標

知: 知識及び技能 思: 思考力・判断力・表現力等 学: 学びに向かう力・人間性等

- (1) 物語に登場する物や人物とのやり取りを通して様々な言葉に触れ、言葉の響きやリズムに親しむ。知
- (2) 物語が進行していく中で、視覚や聴覚等の五感を通して感じ取ったことを、表情や発声、体の動き等で表現する。思
- (3) 絵本「いもいもほりほり」に興味・関心をもち、挿絵を注視したり読み聞かせに聞き入ったりする。学

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・物語に登場する物や人物とのやり取りを通して、様々な言葉に触れ、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 小1段階イ(ア)	・絵本に登場する芋やつる等の半具体物に触れて、五感で感じ取ったことを表情の変化や手足を動かして表現している。 小1段階Aア	・絵本に興味・関心をもち、挿絵を注視したり、読み聞かせに聞き入ったりするなどして、自分が好きな場面を見付けようとしている。 小1段階ウ

4 生徒と題材

(1) 生徒について

本学習グループは、男子3名、女子6名の学習グループで自立活動を主として学習活動を行っている。視覚障害がある生徒が2名おり、全ての生徒が姿勢保持装置やバギーを使用している

自発的に自分の意思や気持ちを表す生徒は少ないが、好きな音や匂い、光等に反応して表情を変えたり、体を動かしたりしている。これまでの学習においては、自立活動と関連させて、テニスボールやゼリー状の素材等、様々な感触の素材に触れたり、腕や手を使って紙を引っ張り合ったりする活動を絵本の内容に合わせて取り入れてきた。活動を繰り返すことで読み聞かせ等の学習への期待感が高まり、表情の変化や体を動かして自分の感情を表現する場面が見られるようになってきている。

(2) 題材について

生徒が題材を身近に感じ、主体的に学習に臨む姿を目指して、これまでの学習において、行事や季節に関する絵本を用いて、他の教科と関連させた学習活動を取り入れてきた。本題材では、秋と関連させ、芋を掘ることをテーマとした絵本「いもいもほりほり」を扱う。この物語では、動物同士のやり取りが繰り返し展開される。豚やねずみなどの登場人物は鳴き声に特徴があり、生徒にとって親しみが湧きやすい。また、豚とねずみが一緒に芋を掘ったり、やぎに掘り方を教わったりする際に使われている「うん、いいよ」「ありがとう」などの言葉は、日常においてもよく使われる言葉であり、これらの言葉に触れることにもつながる。

本題材における芋掘りの疑似体験を通して、五感を働かせながら物語の世界を十分に味わう中で、感じたことを自分の方法で周囲に伝えられると考えた。

(3) 指導について

- ・絵本に親しみをもち、担当する役が分かるように、登場人物のペープサートを用意する。また、動物の鳴き声などの効果音を用意し、選択場面でペープサートと一緒に提示する。
- ・芋を掘る際の言葉と動作が一致しやすいように、芋とつるの半具体物を用意し、実際に引っ張って芋掘りの疑似体験をする。また、本物のさつまいもに触れる機会を設定する。
- ・生徒の主体性を尊重し、表情の変化や口の動き等が表れるまで待つ。
- ・目や口等の動きで生徒の反応を読み取ることのできるアプリ(iOAK)を活用する。

5 指導計画 (総時数 6時間)

小題材名・学習内容	主	対	深	時 数	小題材の目標
1 「いもいもほりほり」を聞こう ・読み聞かせを聞く。 ・登場人物を知る。	○			1	・読み聞かせを通して大まかなあらすじや登場人物を知る。【知】
2 登場人物の行動について知ろう ・読み聞かせを聞く。 ・登場人物の行動について知る。	○	○		1	・読み聞かせを聞いて、登場人物の行動について知る。【知】 ・自分のやりたい役について考える。【思】
3 登場人物になりきろう ・読み聞かせを聞く。 ・担当する登場人物を選ぶ。 ・芋掘りの疑似体験を通して「いもいもほりほり」の言葉の響きを知る。 ・せりふの意味や物語の内容を体の動きや表情の変化で表現する。	○	○	○	4 本時 (3/4)	・ペープサートを見たり、登場人物に関する音を聴いたりして、担当する登場人物を選ぶ。【学】 ・掛け声に合わせて手や腕を動かし、言葉の響きを表現する。【知】 ・自分が選んだ登場人物のせりふに合わせて表情を変えたり、口元を動かしたりする。【思】

6 本時の計画 (総時数6時中の5時)

(1) 本時の目標

- ・物語を見聞きする中で、視覚や聴覚等の五感で感じ取ったことを表情の変化や体の動きで伝える。【思】

(2) 個別の目標

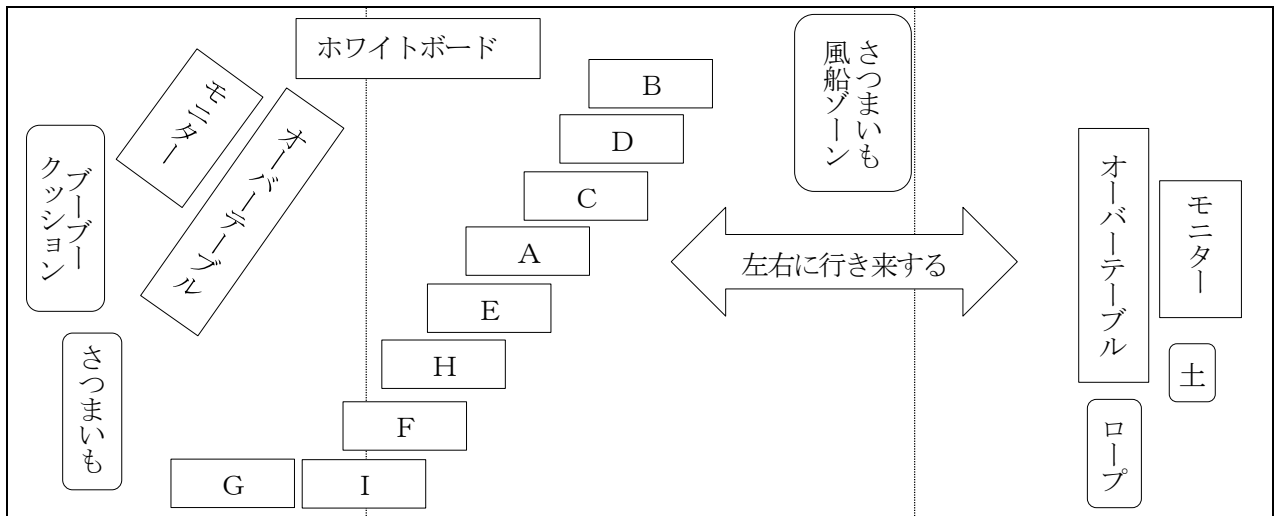
生徒	実態	題材の目標	本時の目標
			手立て*自立活動シートから取り入れた手立て MSゴシック
A 男	・友達や教師の笑い声や音程が高い声を聞くと笑顔になり、声を出して笑う。	・読み聞かせを聞いて興味・関心のある場面で視線や体を動かす。	・「うん、いいよ」や「よいしょ」などのせりふに合わせて口を大きく開けたり、「あ」「きゃ」などと発声したりする。 ・肩に触れながら「Aさん」「せーの」などと言葉掛けする。
B 女	・視覚に障害があるが音を感じ取り、音のする方向に眼球を動かすことがある。	・物語の場面を表す音を聴いたり、芋に触れたりしたときに、まばたきや口元を動かして応じる。	・さつまいもや風船に触れたり、土の匂いを嗅いだりして、「さつまいも」「つちのにおい」などの言葉掛けに合わせて唇や舌を動かす。 ・半具体物の触感を感じやすいように、指先に近付けたたり、頬に優しく押し当てたりする。 ・匂いを嗅ぎやすいように、ビニール袋に入った土を鼻に近付け、手の平であおぐ。
C 女	・赤や黄色など鮮やかな色を見ると、視線を動かす。匂いに敏感で、気になる匂いがしたときに鼻を微細に動かす。	・絵本を見ながら読み聞かせを聞き、場面の变化に合わせて視線を動かす。 ・せりふに合わせて、目線や口を動かす。	・物語の気になる場面があったときに目線を動かしたり、鼻を微細に動かしたりする。 ・絵本を写したモニターが見やすいように座位保持装置を移動する。 ・物語の場面を表す具体物を視線に合わせて提示する。 ・匂いを嗅ぎやすいように、ビニール袋に入れた土やさつまいも等を顔の近くに近付ける。

D 女	<ul style="list-style-type: none"> 軽度難聴で、補聴器を使用している。腕と足を上下に動かして感情を表そうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本の読み聞かせを聞いて、興味・関心がある場面で体を動かしたり、「あー」と発声したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語の登場人物を表す効果音やせりふを聞いて、笑顔になったり腕と足を前後に動かしたりして、物語が進行する様子を体の動きで表現する。
			<ul style="list-style-type: none"> 効果音やせりふが分かりやすいように、効果音やせりふを教師が耳元で繰り返し伝える。
E 男	<ul style="list-style-type: none"> 感音性難聴で、両耳に補聴器を使用している。友達や教師の問い掛けに笑顔や「あー」の発声で応える。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせを聞いて笑顔や「あー」などの発声で興味・関心の気持ちを表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 選んだ登場人物や「いもいもほりほり」のせりふに合わせて、笑顔になったり、「あー」と発声したりする。
			<ul style="list-style-type: none"> せりふの音の響きが分かり、表情の変化や発声につながるように、耳元でゆっくりとせりふを話したり、「せーの」と言葉掛けをしたりする。
F 女	<ul style="list-style-type: none"> 楽しいと感じるときは笑って体を大きく揺らす。気になる物に手を伸ばして触れようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> せりふを話す場面や音楽が流れる場面で、笑ったり手を動かしたりする。 演じたい登場人物を二つの選択肢から一つ選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いもいもほりほり」や「ありがとう」などのせりふに合わせて、手を動かしたり「あー」と発声したりする。
			<ul style="list-style-type: none"> 体を動かすタイミングが分かるように、名前を呼んで、テーブルを軽くたたいて音を出す。 「あー」と発声できるように、名前を呼びながら身振りでせりふを表現する。
G 女	<ul style="list-style-type: none"> 身近な教師や友達の言葉掛けに対して、笑顔や右足を動かして応える。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな動物の登場に合わせて、表情を変えたり、右足を動かしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「チューチュー」や「メーメー」の鳴き声に合わせて、笑顔になったり右足を動かしたりする。
			<ul style="list-style-type: none"> 登場人物に興味をもち、鳴き声のイメージが湧きやすいように、ペープサートを顔に近付けながら耳元で音を出す。
H 男	<ul style="list-style-type: none"> 表情や発声で快不快や好き嫌いなどの気持ちを表す。呼名や挨拶に対して緊張して声が出ないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 気になる動物が登場したときやさつまいも芋などの具体物に触れたとき、笑顔になったり「ああ」と発声したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いもいもほりほり」「うん、いこう」などのせりふに合わせて口を大きく開ける。
			<ul style="list-style-type: none"> 口を開けるタイミングが分かるように、「次だよ」「せーの」などと耳元で言葉掛けする。 口を開ける動きが分かるように、顔の前で、教師が口を大きく開ける動きを演示する。
I 女	<ul style="list-style-type: none"> 抑揚の付いた声で呼ばれると目や口を動かすことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面を表す音を聞いたり、具体物に触れたりしたときに目や口の動きで興味・関心があることを表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いもいもほりほり」のせりふを聞いたり、さつまいもに触れたりしたときに、目や口を動かす。
			<ul style="list-style-type: none"> せりふに興味をもち、聞き取りやすいように抑揚を付けて大きな声でせりふを言う。

(3) 学習過程

時間 (分)	学 習 活 動	指導上の留意点 *自立活動の指導内容から取り入れた手立てや留意点はMSゴシック表記
9:55 (5)	1 本時のめあてと学習の流れを知る。	<ul style="list-style-type: none"> めあてがイメージしやすいように、目や顔、口などを表したイラストを用意する。
	めあて せりふにあわせて、くちやめをうごかそう。	
10:00 (5)	2 読み聞かせを聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の視線を捉えやすいように、T1は椅子に座り、生徒と視線の高さを合わせる。
10:05 (5)	3 登場人物の役を選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が役を選びやすいように、ねずみや豚の鳴き声などの音源を用意する。また、二択にしてペープサートを提示する。
10:10 (30)	4 登場人物を演じる。 ① さつまいも風船を見ながら移動する。 ② ねずみと出会う。 ③ もぐらと出会う。 ④ やぎじいさんと出会う。 ⑤ 芋掘りの疑似体験をする。 ⑥ 芋に触れる。 ⑦ 芋の匂いを嗅ぐ。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の五感に働きかけて表出を引き出せるように、さつまいもや土を用意し、触れたり、匂いを嗅いだりする場面を設定する。 生徒の微細な動きが分かるように、口元や目元から生徒の反応が読み取ることができるアプリ（iOAK）が入った端末を用意する（B、I）。 場面転換の気付きにつながるように、「いもいもほりほり」の音楽を流す。 生徒がせりふに合わせて表情を変化させたり、体を動かしたりしていたか分かるように、タブレット端末で映像を撮り、振り返りで活用する。
		<p>〈見取りの場面〉</p> <ul style="list-style-type: none"> めあてや個別の目標に関して、表情が変わったり、口や目を動かしたりする場面
10:40 (5)	5 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 学習の様子を振り返られるように、撮影した映像を見る時間を設定する。
	振り返り せりふにあわせて、くちやめをうごかした。	
		<ul style="list-style-type: none"> 口や目を動かしている様子を教師が言葉で伝え、称賛する。

(4) 配置図



(5) 評価の観点

<生徒>・個別の目標を基に評価する。

<教師>・生徒の発声や表情の変化、体の動きを引き出すためのICT機器の活用や教師の手立ては適切であったか。